

第22週の発生動向 (2004/5/24~2004/5/30)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 青森県内の感染性胃腸炎については、168件(21週)から127件(22週)と全体的に減少傾向ですが、むつ保健所管内では16件(21週)から27件(22週)と増加しています。

第22週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		発生の 傾 向
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00		0.00	1	0.07		0.00	2	0.22		0.00	3	0.05	
(60) 咽頭結膜熱	4	0.50	8	0.80		0.00		0.00	2	0.33	7	1.75	21	0.50	
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.75	17	1.70	2	0.22	4	0.80	19	3.17	14	3.50	62	1.48	
(62) 感染性胃腸炎	43	5.38	29	2.90	2	0.22	5	1.00	21	3.50	27	6.75	127	3.02	
(63) 水痘	25	3.13	17	1.70	26	2.89	5	1.00	7	1.17	3	0.75	83	1.98	
(64) 手足口病		0.00		0.00	1	0.11		0.00		0.00		0.00	1	0.02	
(65) 伝染性紅斑	4	0.50		0.00	4	0.44		0.00		0.00		0.00	8	0.19	
(66) 突発性発疹	2	0.25	4	0.40	6	0.67		0.00	8	1.33	8	2.00	28	0.67	
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹	2	0.25		0.00	1	0.11		0.00		0.00		0.00	3	0.07	
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38	3	0.30		0.00		0.00		0.00	5	1.25	11	0.26	
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.10	17	1.89	1	0.20	1	0.17	3	0.75	24	0.57	
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50		0.00	1	0.50	2	2.00		0.00		0.00	4	0.36	

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

発生傾向・「↑」増加傾向、「↓」減少傾向、「→」ほぼ横ばい、「空欄」患者発生数0、■ は注意報、■ は警報

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 3人 (16年計 45人)

病原体検出情報

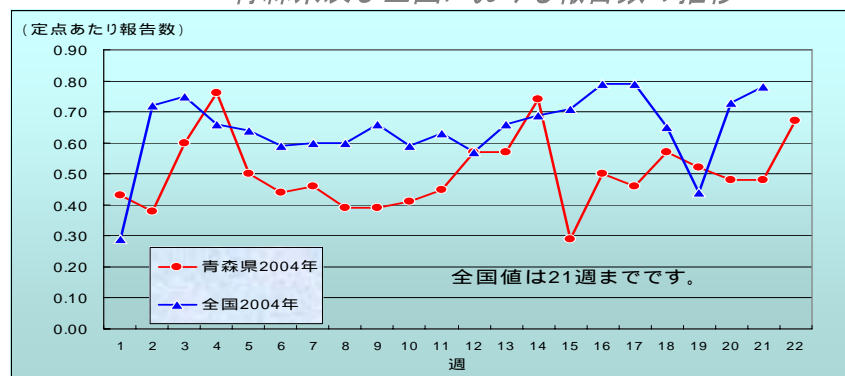
青森保健所管内において、5月のインフルエンザ様患者の咽頭ぬぐい液からインフルエンザウイルスB型が検出されました。

感染症の窓

突発性発しん



青森県及び全国における報告数の推移



病原体 ⇨ ヒトヘルペスウイルス6型及び7型 (human herpesvirus 6型, 7型) による感染症です。

臨床症状 ⇨ 突然の高熱 (38℃以上) で発症し、2~3日間持続します。解熱に前後して体幹部、四肢、顔面に発疹が現れます。

好発年齢 ⇨ 乳児期、特に6~18カ月の間に罹患します。

経過・予後 ⇨ 良好であり2次感染の危険はありませんが、まれに脳炎、髄膜炎、肝炎、血小板減少性紫斑病などの合併症があります。また、ウイルスが全身に播種して死亡した例も報告されています。

報告状況 ⇨ 季節的流行はありません。本県では、むつ保健所管内 (5件→8件)、上十三保健所管内 (6件→8件) と21週に比べ増加しています。2004年の全国比では1週、4週、14週で全国値を上回りました。